

2016年7月期 決算説明会

Company Presentation

2016年 9月

TORIKIZOKU_∞

株式会社 鳥貴族
(証券コード：3193)

2016年7月期

TORIKIZOKU_∞



業績ハイライト（前期比）



（単位：百万円）

	2015年7月期 通期実績 (売上比)	2016年7月期		
		通期実績 (売上比)	前期比	
			%	金額
売上高	18,659	24,509	131.3	+5,849
売上総利益	12,807 (68.6%)	16,826 (68.7%)	131.4	+4,019
販売費及び 一般管理費	11,688 (62.6%)	15,230 (62.1%)	130.3	+3,542
営業利益	1,118 (6.0%)	1,595 (6.5%)	142.7	+477
経常利益	1,082 (5.8%)	1,547 (6.3%)	143.0	+465
当期純利益	585 (3.1%)	981 (4.0%)	167.7	+396

✓ 4期連続
増収増益を達成

主な増減要因（前期比）

売上高

- ・新規出店による売上増加
(直営店純増60店舗) +2,551
- ・既存店売上増加 +3,196

販売費及び一般管理費

- ・既存店人件費増加
(売上増、衛生管理強化等) +985
- ・既存店その他費用増加 +388
- ・新規出店店舗の
販売費及び一般管理費 +1,880

特別利益

- ・固定資産売却益
(社員独立によるもの) +6

特別損失

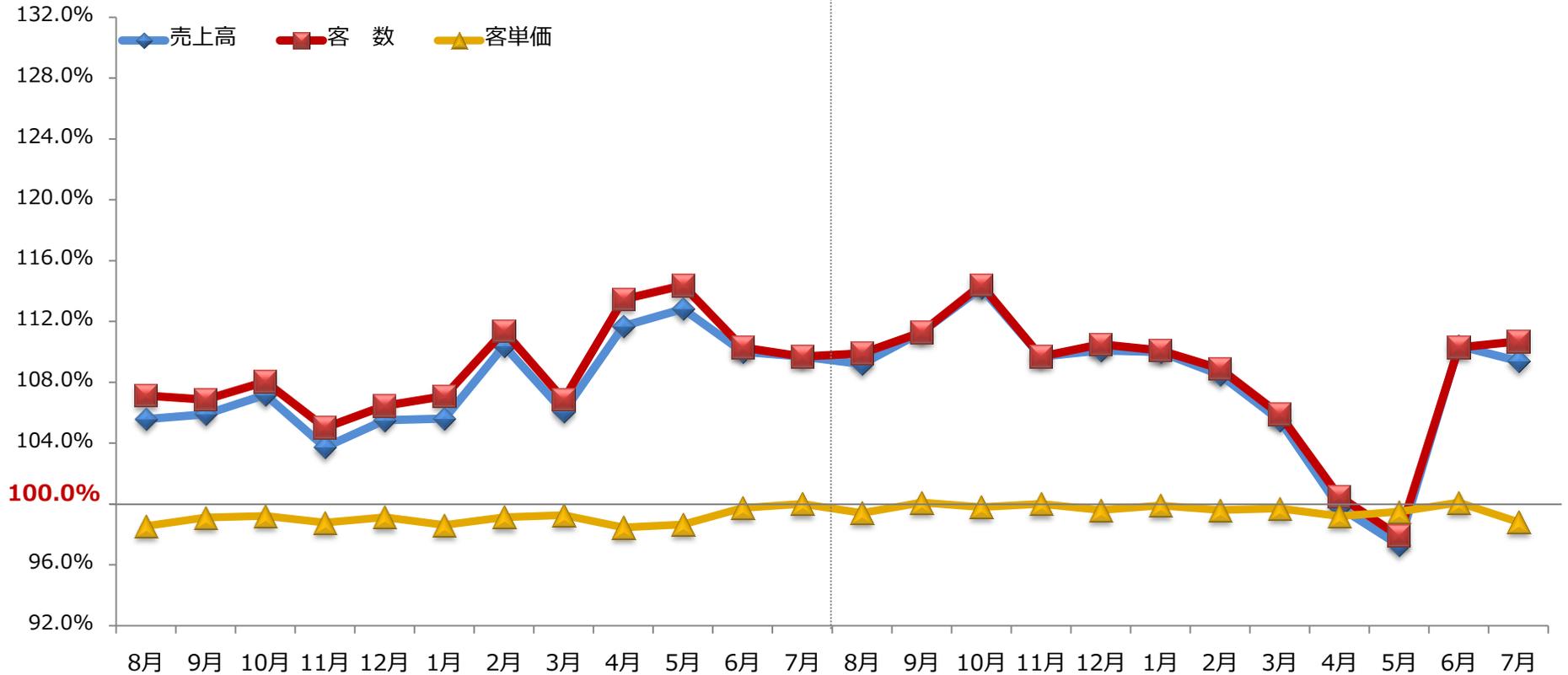
- ・固定資産除却損
(POS入れ替えによるもの) +54
- ・減損損失 +1

既存店売上高前年比推移



29期

30期



※このページにおける既存店とは、新規開店した月を除き、12ヶ月以上経過した店舗としております。

(単位：%)

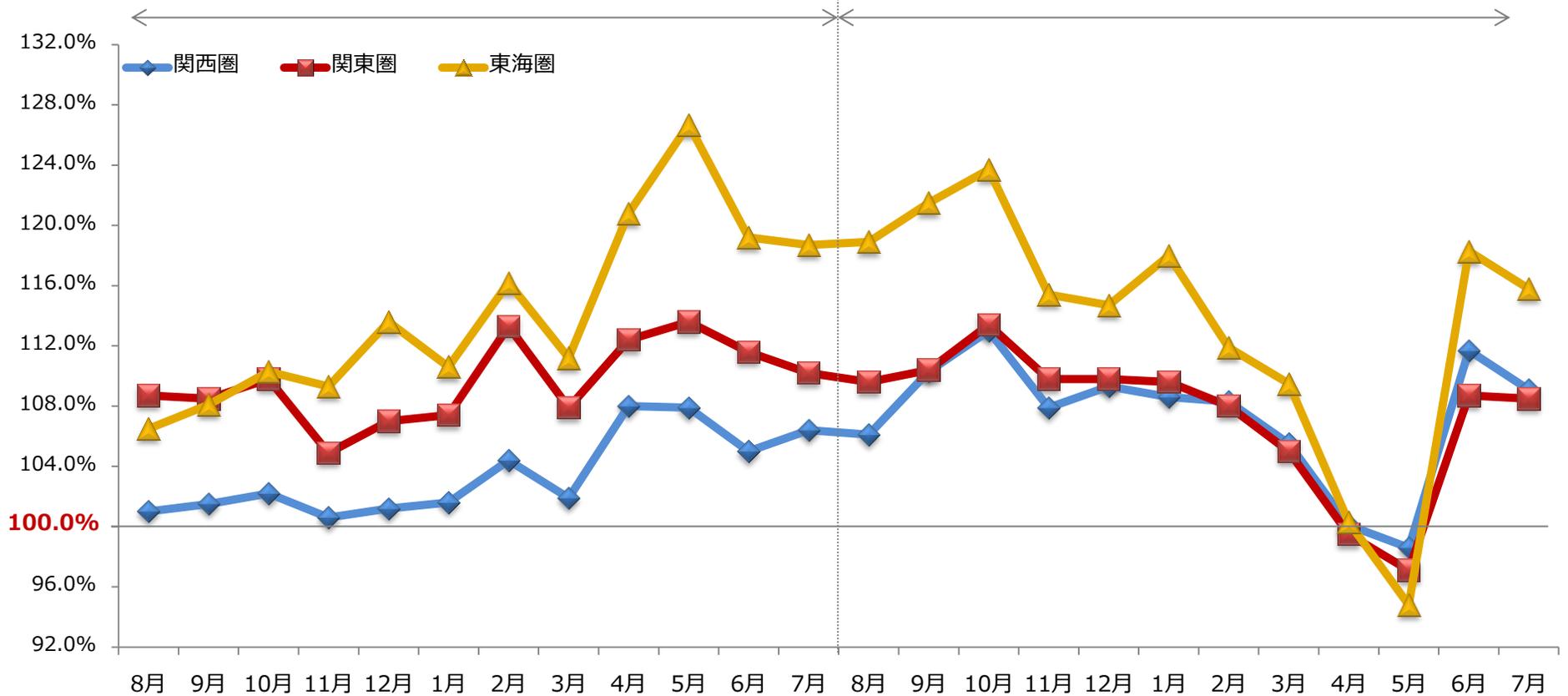
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	30期
売上高	105.6	105.9	107.2	103.7	105.5	105.6	110.4	106.1	111.7	112.8	110.0	109.7	109.2	111.3	114.2	109.7	110.1	110.0	108.5	105.5	99.8	97.3	110.4	109.4	107.6
客数	107.1	106.9	108.0	105.0	106.4	107.1	111.4	106.9	113.5	114.4	110.3	109.7	109.9	111.3	114.4	109.7	110.5	110.1	108.9	105.9	100.5	97.9	110.3	110.7	108.0
客単価	98.5	99.1	99.2	98.8	99.1	98.6	99.1	99.3	98.5	98.6	99.7	100.0	99.4	100.1	99.8	100.0	99.6	99.9	99.6	99.7	99.2	99.5	100.1	98.8	99.6

既存店売上高前年比推移（エリア別）



29期

30期



※このページにおける既存店とは、新規開店した月を除き、12ヶ月以上経過した店舗としております。

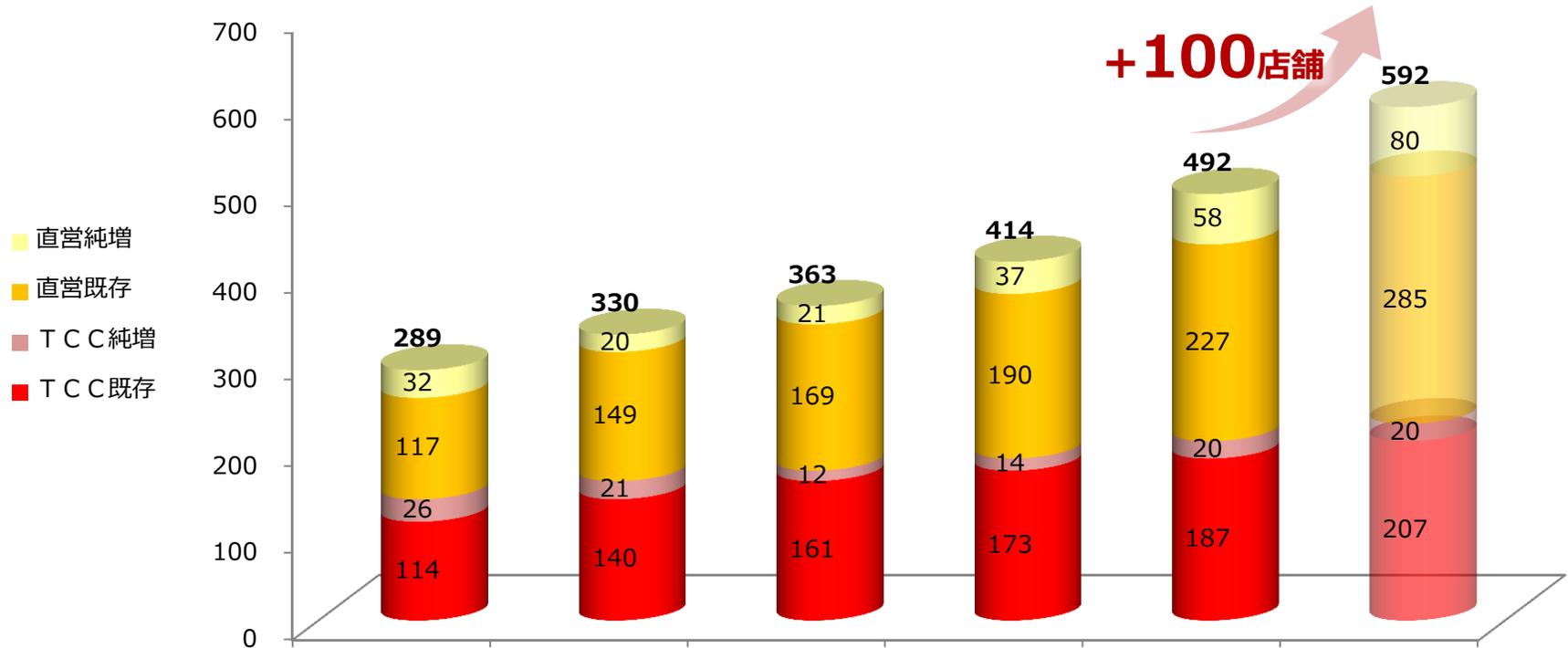
(単位：%)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	30期
関西圏	101.0	101.5	102.2	100.6	101.2	101.6	104.4	101.9	108.0	107.9	105.0	106.4	106.1	110.3	113.0	107.9	109.3	108.6	108.3	105.5	100.1	98.6	111.7	109.1	107.2
関東圏	108.7	108.5	109.8	104.9	107.0	107.4	113.3	107.9	112.4	113.6	111.6	110.2	109.6	110.4	113.4	109.8	109.8	109.6	108.0	105.0	99.5	97.1	108.7	108.5	107.0
東海圏	106.5	108.1	110.3	109.3	113.6	110.6	116.2	111.2	120.8	126.7	119.2	118.7	118.9	121.5	123.7	115.4	114.7	118.0	111.9	109.5	100.3	94.8	118.3	115.8	112.7

店舗数推移



- ✓ 2016年7月期は、直営店60店舗、TCC店20店舗を新規出店
- ✓ 2017年7月期は、直営店80店舗、TCC店20店舗の新規出店を計画



		2012年7月期	2013年7月期	2014年7月期	2015年7月期	2016年7月期 (実績)	2017年7月期 (計画)
合計	期末合計	289	330	363	414	492	592
直 営	期末店舗数	149	169	190	227	285	365
	純増	32	20	21	37	58	80
T C C	期末店舗数	140	161	173	187	207	227
	純増	26	21	12	14	20	20

業績ハイライト（予想比）



（単位：百万円）

	2016年7月期			
	通期予想 (売上比)	通期実績 (売上比)	予想比	
			%	金額
売上高	23,161	24,509	105.8	+1,347
売上総利益	15,861 (68.5%)	16,826 (68.7%)	106.1	+964
販売費及び 一般管理費	14,477 (62.5%)	15,230 (62.1%)	105.2	+753
営業利益	1,384 (6.0%)	1,595 (6.5%)	115.2	+211
経常利益	1,313 (5.7%)	1,547 (6.3%)	117.8	+234
当期純利益	667 (2.9%)	981 (4.0%)	147.1	+314

✓ 好調な売上高を背景に
予想比でも増収増益

主な増減要因（前期比）

売上高

- ・新規出店店舗 +311
- ・既存店 +988

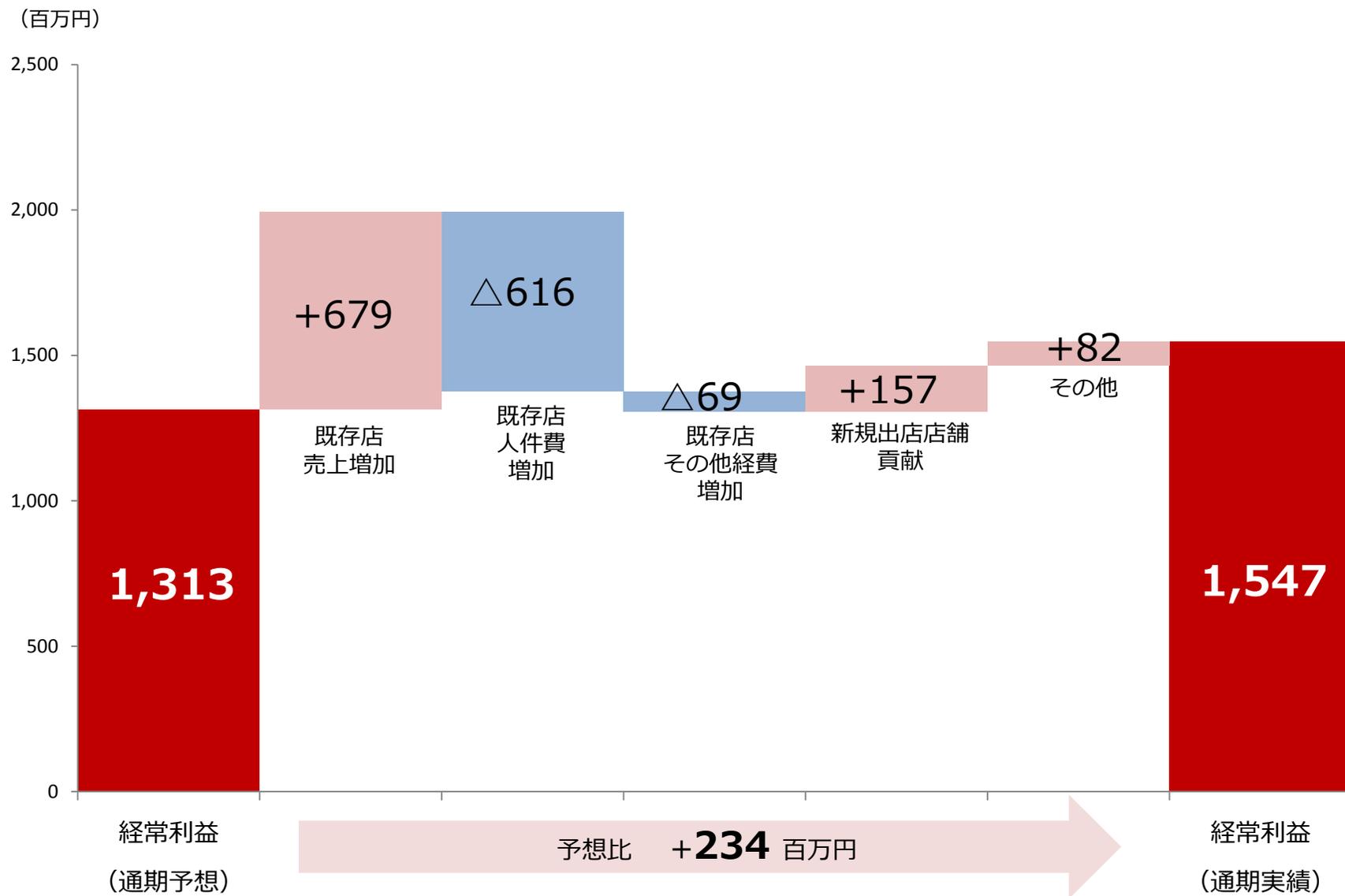
販売費及び一般管理費

- ・既存店人件費増加
(売上増に伴うもの) +616
- ・既存店その他費用増加 +69
- ・新規出店店舗の
販売費及び一般管理費 +72

特別損失

- ・固定資産除却損 △37
- ・減損損失 +41

業績ハイライト (予想比)



貸借対照表（対前期末）



(単位：百万円)

	2015年 7月期	2016年 7月期	前年差異	主な増減内容
資産の部				
流動資産	5,675	4,875	△800	出店・店舗数増加に伴う現預金の減少
固定資産	5,329	7,601	+2,272	店舗数増加による建物、リース資産、差入保証金の増加
資産合計	11,005	12,477	+1,471	
負債の部				
流動負債	3,930	4,490	+559	店舗数増加による営業債務の増加
固定負債	2,501	2,444	△56	長期借入金の返済 店舗数増加に伴う長期リース債務、資産除去債務の増加
負債合計	6,432	6,934	+502	
純資産の部				
純資産合計	4,573	5,542	+969	当期純利益の計上
自己資本比率	41.6%	44.4%	+2.8pt	
ROE	17.4%	19.4%	+2.0pt	

キャッシュ・フローの状況



	2015年7月期	2016年7月期
	(単位：百万円)	
営業キャッシュ・フロー (a)	1,704	2,412
税引前当期純利益	1,034	1,450
減価償却費	737	948
仕入債務の増減額	178	243
未払金の増減額	250	267
法人税等支払額	△503	△485
その他	6	△10
投資キャッシュ・フロー (b)	△1,348	△2,476
財務キャッシュ・フロー	1,498	△1,021
長期借入れによる収入	934	—
長期借入金の返済による支出	△1,059	△799
リース債務の返済による支出	△173	△205
株式の発行による収入	1,833	—
配当金の支払い額	△32	△41
その他	△3	24
フリーキャッシュ・フロー (a)+(b)	356	△64
現金及び現金同等物の期末残高	4,734	3,648



2016年8月15日に公表

■ 概要

直営店である「鳥貴族 南柏店」において、食品添加物アルコール製剤をチューハイに用いる焼酎と誤って提供してしまうという事案が発生しました。
当該食品添加物アルコール製剤は、人体への影響がないことを確認しております。

■ 経緯

従業員が、チューハイ提供時に使用するドリンクサーバーへ焼酎を接続すべきところを誤って食品添加物アルコール製剤を接続し、そのことに気付かず当該ドリンクサーバーを使用してお客様へ商品を提供しておりました。

■ 原因

1. 焼酎及び食品添加物アルコール製剤は、両方とも透明の液体であり、かつ抽出口が付いた透明な容器を段ボール製の包材で梱包したもので、形状・サイズが似ていたこと。
2. 厨房内に段ボール製の包材を置いてはならないとの南柏店におけるマニュアルの誤認識のもと、焼酎及び食品添加物アルコール製剤を梱包している段ボール製の包材を廃棄し、透明な容器のみの状態で使用していたため、見た目には焼酎との区別がつかなかったこと。
3. 食品添加物アルコール製剤の抽出口部分がドリンクサーバーの接続口部分の口径サイズに近似しており、強引に接続することが可能だったこと。

お客様への食品添加物アルコール製剤誤提供について



2016年8月15日に公表

■ お客様への対応

お客様からのお問合せ窓口の設置及び対象商品分の代金を返金

■ 再発防止策

本件発覚後、ただちに直営店・TCC店の全店を調査し、同様の誤接続がなされている店舗が無いことを確認しております。

主な再発防止策は以下のとおりであり、すべて実施済みです。

包材・容器が、一目で焼酎と区別できる規格の食品添加物アルコール製剤への変更	完了
焼酎の交換作業に関する詳細な手順書の作成と周知徹底	継続実施
食品添加物アルコール製剤の保管場所を改めて定め、食材と混同しないよう周知徹底	継続実施
自主検査において再発防止策の実施状況をチェック	継続実施

トピックス



● 東証一部へ指定

2016年4月1日、東京証券取引所市場第一部へ指定されました。



● 会社設立30周年

2016年9月19日、会社設立30周年を迎えました。



● 国産国消への挑戦

食材国産比率

98.2% → **100%**
2016年4月～ 2016年10月（予定）

※ 加工食品は、法令に基づき、最終加工国が日本となっているものを「国産」として取り扱っており、加工する際に使用する食品原料には外国産も含まれております。



● 280円均一を守ろうプロジェクト

既存店舗の生産性をブラッシュアップ、収益性を高める取り組みの一環としてプロジェクトチームにて検討を実施

- ✓ 安心・安全の一層の担保
- ✓ 大皿による提供 etc.

- ✓ **タッチパネル導入店舗の検討**
 - ※ 全店ではなく、効果を見込める一部店舗への導入を想定
 - お客様が注文しやすい環境
 - 営業時人員の減少
 - 従業員の負担軽減
- ✓ 調理の一次加工

• ムリ・ムダ・ムラの洗い出し

• 改革案の策定

• **モデル店舗での実施**

• 全店への落とし込み

業績予想



- 売上高前期比125.4% 経常利益前期比124.6%を予想
- 5期連続の増収増益を見込む
 - ✓ 直営店の純増80店舗を計画し、売上規模を拡大
 - ✓ 既存店売上高前年比は、2016年6月のテレビ放映の影響を除いた水準で101%

(単位：百万円)

	2016年7月期 累計実績 (売上比)	2017年7月期		
		累計予想 (売上比)	前期比	
			%	金額
売上高	24,509	30,740	125.4%	+6,231
営業利益	1,595 (6.5%)	1,959 (6.4%)	122.8%	+364
経常利益	1,547 (6.3%)	1,928 (6.3%)	124.6%	+381
当期純利益	981 (4.0%)	1,164 (3.8%)	118.7%	+183

1株当たり 当期純利益	85円75銭	100円56銭
----------------	--------	---------

配当予想及び株主優待



■ 株主還元基本方針

成長戦略への内部留保を優先するが、安定的かつ継続的な配当を実施

	2015年7月期 (実績)		2016年7月期 (実績)		2017年7月期 (予想)	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末
配当性向	5.9%		7.0%		8.0%	
一株当たり配当金	10円	5円	2円	4円	4円	4円

株式分割
(1株：2株)

株式分割
(1株：3株)

普通配当：2円
記念配当：2円
(東証一部指定)

普通配当を年間で
4円増配

■ 株主優待制度

ご所有株式数	株主優待
100株～299株	年間2,000円相当のお食事ご優待券
300株～499株	年間6,000円相当のお食事ご優待券
500株以上	年間10,000円相当のお食事ご優待券



【経営方針】

「鳥貴族」単一業態によるチェーン展開

【中期経営目標】（2015年7月期～2017年7月期）

- 3商圈 500店舗 売上高250億円
- 既存店売上 年間101%（対前年）
- 経常利益率 5%以上維持

【重要施策】

- ✓ 新規出店の強化
- ✓ 国産国消への挑戦
- ✓ 人財基盤の強化

ブランドの向上

中期経営計画進捗状況（2016年7月期）



【中期経営目標】（2015年7月期～2017年7月期）

- **3商圈 500店舗 売上高250億円**

2016年7月末時点 **492**店舗

2016年7月期 売上高**245**億円

計画通り
順調に推移

- **既存店売上 年間101%（対前年）**

2015年7月期累計 **107.9%**

2016年7月期累計 **107.6%**

前年を
大幅超過

- **経常利益率5%以上維持**

2015年7月期累計 **5.8%**

2016年7月期累計 **6.3%**

5%以上を
維持

(参考) 会社概要



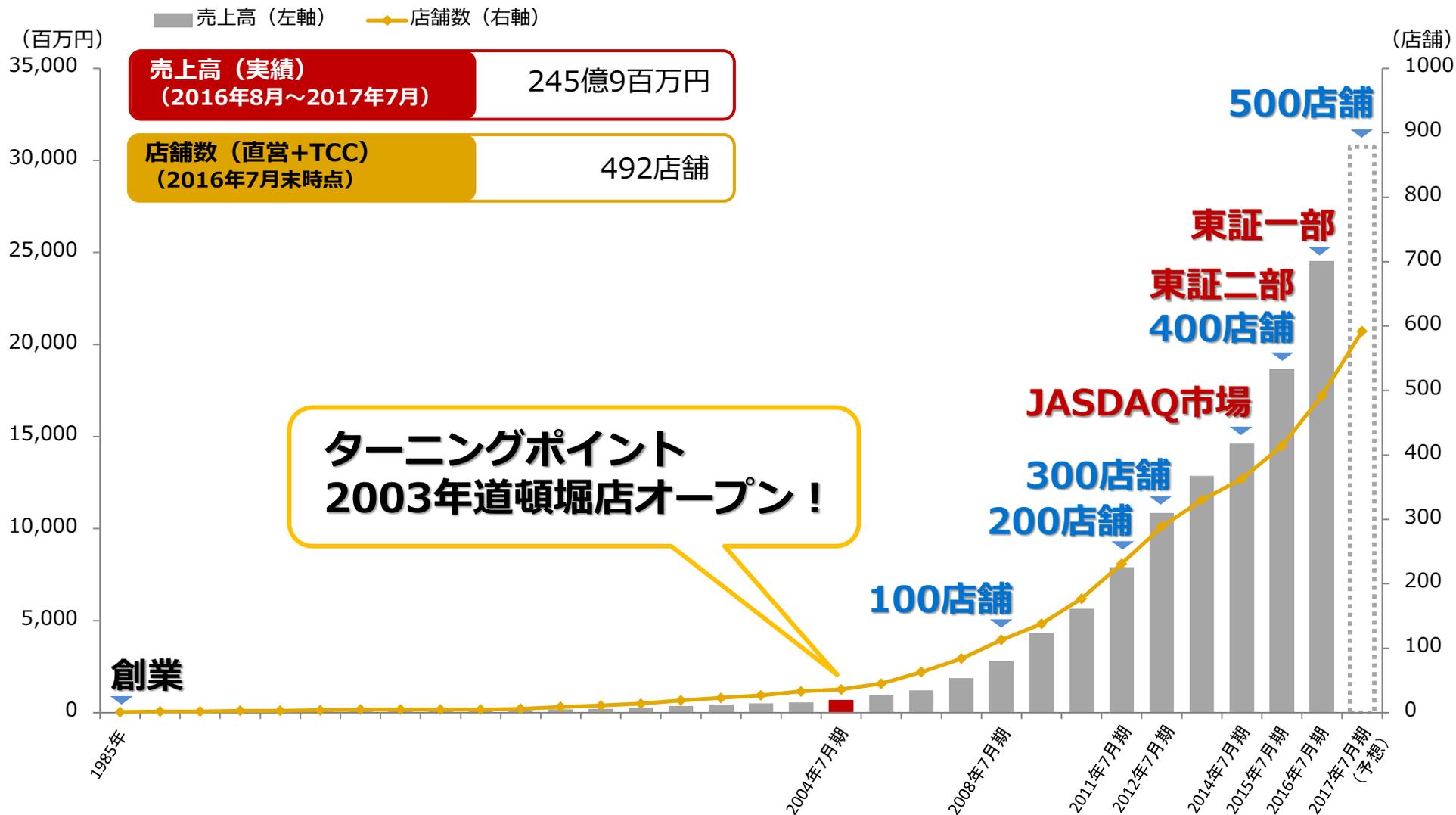
社名	株式会社 鳥貴族
設立	1986年9月19日
本社	大阪市浪速区立葉1-2-12
代表者	代表取締役社長 大倉 忠司
資本金	1,488,685,125円 (2016年7月末現在)
店舗数	店舗数 495店舗 (2016年8月末現在) ● 直営 288店舗 ● TCC ^{*1} 207店舗
従業員数	従業員数 601名 (2016年7月末現在) (外、平均臨時雇用者数 ^{*2} 2,812名)
事業所	● 大阪本社・夕レ製造工場 ● 東京事務所 ● 名古屋事務所



*1 当社では、一般的なフランチャイズチェーンよりも強固なビジネスパートナーとしての関係性を確保することを目的として、限られた加盟店オーナーを「カムレード」と称しており、TCCは鳥貴族カムレードチェーンの略です。

*2 平均臨時雇用者数は、1日の労働時間を8時間で換算した年間平均の人数です。

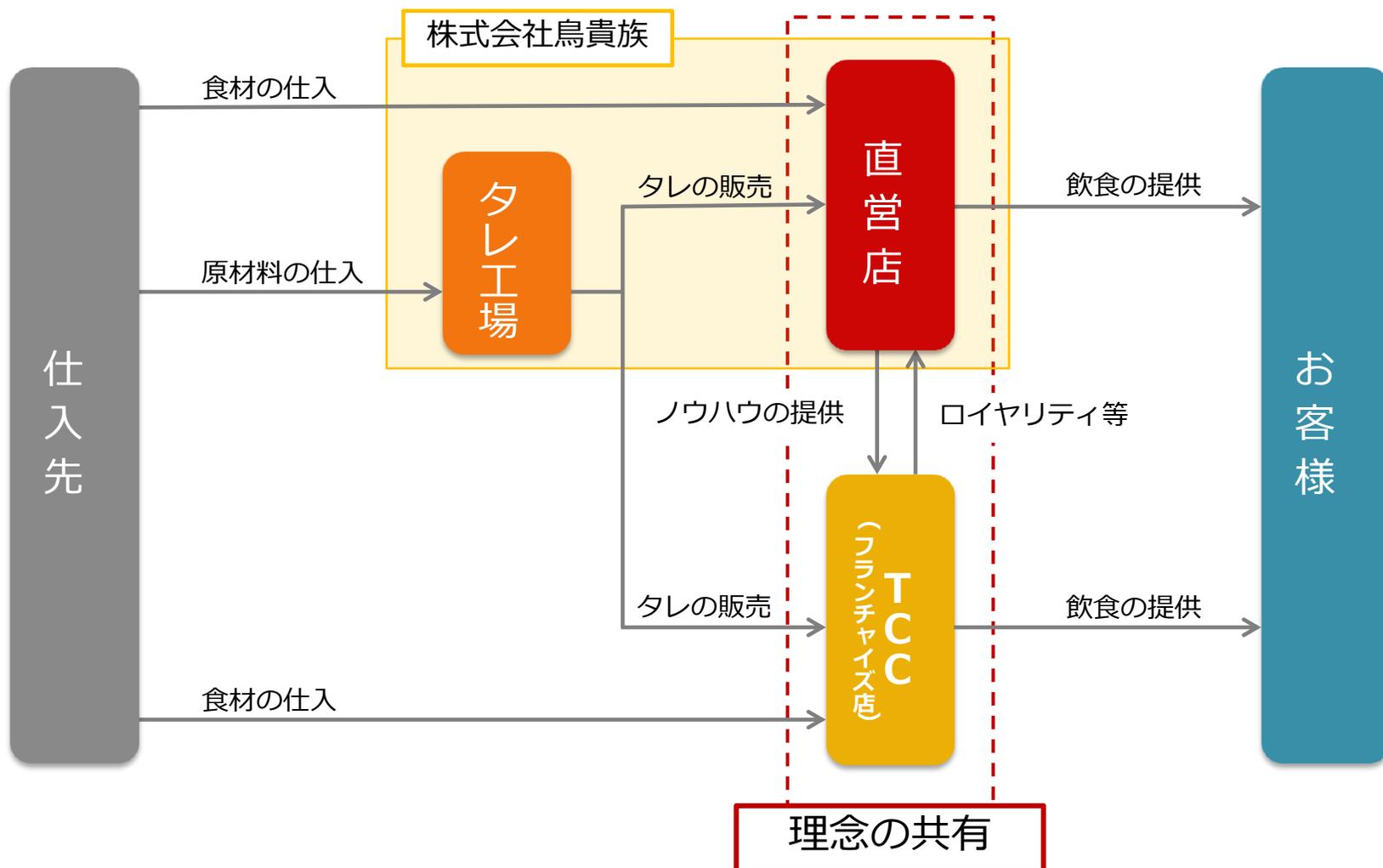
(参考) 沿革



(参考) 事業系統図



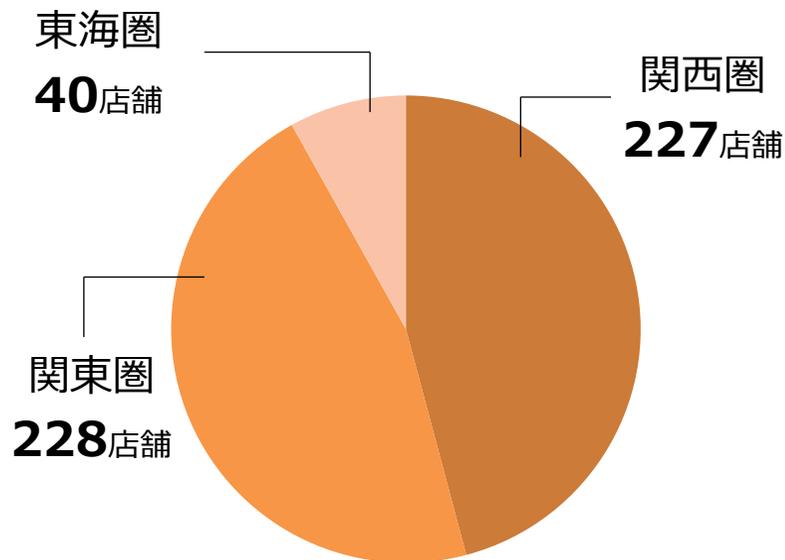
タレ工場以外、セントラルキッチンを保有せず、各店舗で仕込み ⇒ 手作りの強み



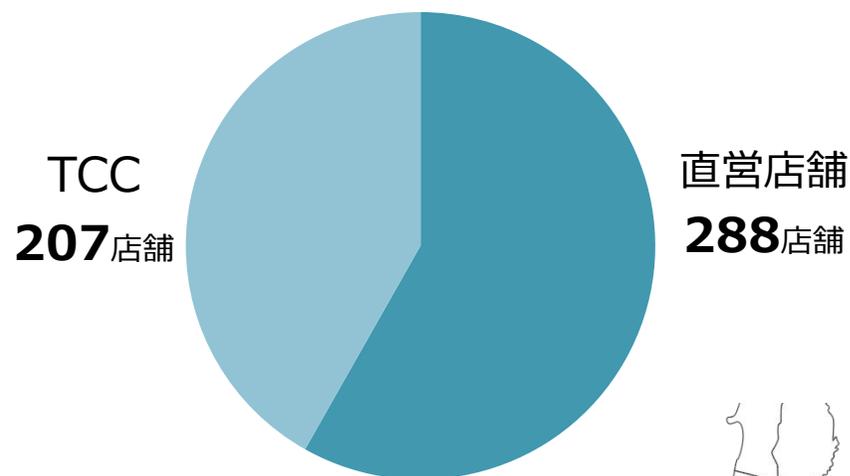
【参考】エリア別・運営形態別の店舗数（2016年8月末）



【エリア別】

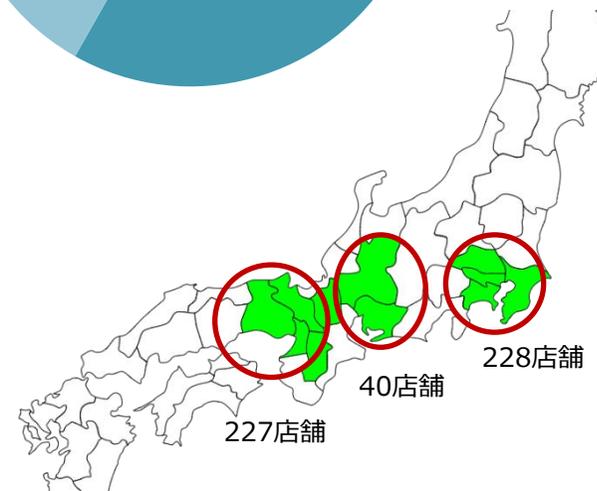


【運営形態別】

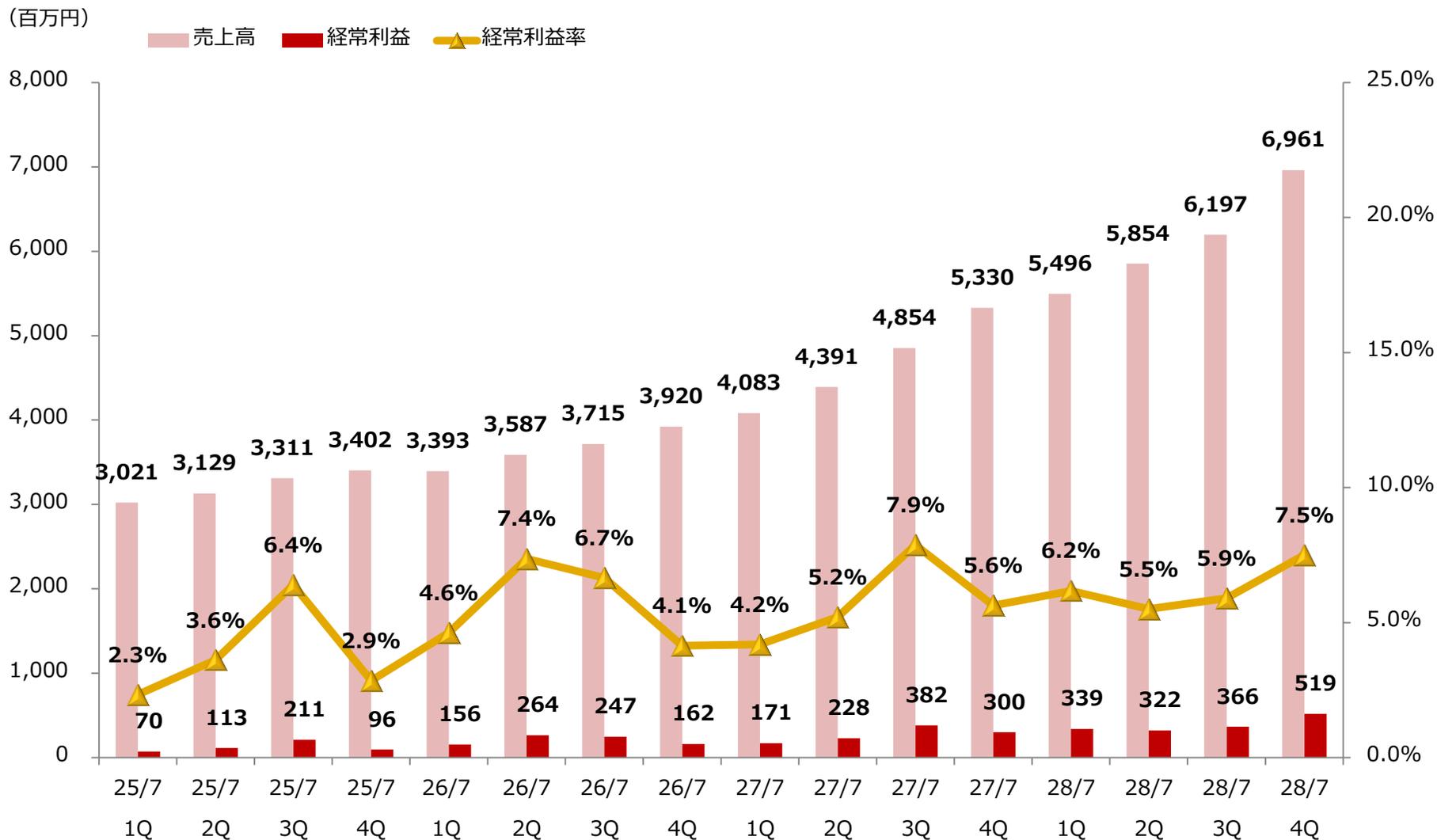


(単位：店舗)

エリア	合計店舗数	運営形態	
		直営店舗数	TCC店舗数
関西圏	227	81	146
関東圏	228	167	61
東海圏	40	40	0
合計	495	288	207



(参考) 四半期業績の推移



注意事項



- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社鳥貴族(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。
- 当資料に記載された内容は、2016年7月31日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先
株式会社鳥貴族 管理部IR担当
TEL 06-6562-5333
<https://www.torikizoku.co.jp/company/ir/contact/>